

## 計画及び答申の概要

### ○趣旨及び目的（計画（案） 2ページ）

士別市では世代を問わず、個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域・社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、生涯学習を通じて市民に根ざしたウェルビーイング（心身の健康）の維持・向上をめざします。

単に学ぶだけではなく、学んだ成果を生かせる社会は誰もが幸せに暮らせる社会であり、ひとりひとりの幸福が社会の発展につながります。

引き続き「人づくり・つながりづくり・地域づくり」を進めるため、横断的な連携・協力体制のもとに施策を進めるとともに、市民と行政との連携のもとで、生涯学習の推進を総合行政ととらえ生涯学習を推進できるよう「第3期士別市人づくり・まちづくり推進計画」を策定します。

### ○基本理念（計画（案） 4ページ）

「ひとづくり・つながりづくり・地域づくり」とします。

### ○生涯学習に関する市民アンケート調査の結果（計画（案） 23ページ）

令和7年6月に「士別市男女共同参画・生涯学習」に関する市民アンケート調査を実施しています。

### ○士別市人づくり・まちづくり推進協議会からの答申（計画（案） 37ページ）

令和7年12月22日、士別市人づくり・まちづくり推進協議会（小笠原英之会長）から、第3期士別市人づくり・まちづくり推進計画（案）に対する答申をいただきました。

なお、計画の推進にあたっては、次の5点を留意することが求められました。

- ① 市民の生涯学習意識の醸成に向け、「誰も排除されない、つながりのある社会づくりの実現」にあたっては、それぞれの学習ニーズがあり、誰一人として取り残すことなく、学習機会の提供に取り組むこと。
- ② 生涯学習は、個人の自発的な学習意欲に根ざすものであり、その成果を地域社会の発展や課題解決に活かすために、学習成果が地域社会への主体的な参画や課題解決に結びつくよう必要な支援に取り組むこと。
- ③ 各分野で活躍する経験豊かな市民を生涯学習指導者として活躍できる機会を設け、「生きがい」として活かすことができるよう取り組むこと。
- ④ 市民の自発的な生涯学習活動への支援として、幅広い分野での学習活動の活発化を図るため、生涯学習グループの組織化の推進に取り組むこと。
- ⑤ 「市民アンケート調査」の結果については、市民の声として受け止め、その反映に努めるとともに、その結果を広く市民へ周知すること。